

参加費は  
無料だよ!



# 「はなのわペアレント・トレーニング」参加者募集!

子どもの行動に「困ったな…」「どうすればいいのだろう…」など、悩みを抱えていませんか。ペアレント・トレーニングとは、お子さんのさまざまな行動に対してどのような対応が効果的なのか、“子どもとの関わり方のコツ”を学ぶプログラムです。親と子がより良い関わり方で家庭生活が送れるよう、同じ悩みを持つ保護者の皆さんと一緒に学んでみませんか。

**期日**▼5月31日、6月21日、7月12日、9月13日(全て水曜日、全4回)

**時間**▼午前9時30分～11時15分(午前9時20分受け付け開始)

**場所**▼なごみ・総合支援センター

**対象等**▼村内在住で、おおむね3歳児～小学3年生の子を持つ保護者(先着20人)

**内容**▼▽第1回…オリエンテーション、子どもの行動を3種類に整理しよう、好ましい行動を増やすには▽第2回…好ましくない行動を減ら

すには▽第3回…子どもの協力を増やす方法  
▽第4回…みんなで振り返りおしゃべり会

**講師**▼根本仁子さん(ペアレント・トレーニングリーダー)

**その他**▼新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、中止・延期となる場合があります。

**申し込み・問い合わせ**▼5月1日(月)から17日(水)まで(土・日曜日、祝日を除く)に、電話で、子ども発達支援センター(なごみ・総合支援センター内 ☎282-3443)へ申し込みください。

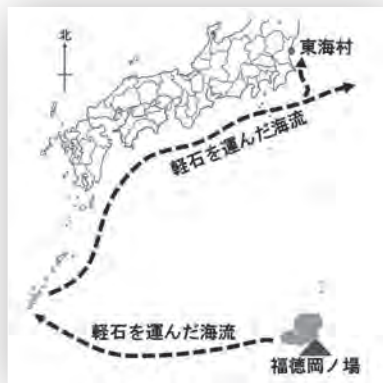
ふるさと歴訪  
〜自然を探して〜

## 話題の「軽石」が村松に漂着!

軽石は、火山の噴火で空中に放出されたマグマが急な圧力の低下により泡立ち、内部がスカスカの状態で固まった、水に浮く軽い岩石です。

令和3(2021)年8月13日、東京から南に約1300キロメートル離れた小笠原諸島の「福徳岡ノ場」で、海底火山の巨大噴火が発生しました。噴出した軽石は海流に乗って沖縄各地に漂着し(左図)、漁業や海上交通などに大きな被害と影響を及ぼしました。関東沿岸と伊豆諸島でも、11月ごろの漂流や漂着が心配されたことは記憶に新しい出来事です。茨城県では大量の漂着はなく、大きな問題にはなりませんでしたが、問題となった軽石ですが、噴出から約10か月を過ぎた令和4(2022)年9月1日から13日にかけて、村内在住の反田孝美さんが、村松海岸(新川河口の北から八間道路先までの間)で314個もの軽石を採集し、歴史と未来の交流館に寄贈されました。それらの軽石の特徴はさまざまで、最大の物で長径が約133ミリメートル、形は角形・楕円形・円形を示し(下写真)、一部の軽石には漂流時に

付着したコケムシやエボシガイも観察されました。各地の情報をもとに検討した結果、村松海岸の漂着軽石は、福徳岡ノ場から移動・漂着したものと判断されました。



【図・軽石の移動推定図】



【写真・村松海岸に漂着した軽石】

石が、豊岡宮前遺跡の住居内から発見されています。

最後に、歴史的な軽石の話題の一つ。古墳時代の東海村にも軽石に興味を持ったお方が住んでいたようです。その証拠に、海岸から持ち帰って利用したと想像される軽

石が、豊岡宮前遺跡の住居内から発見されています。

東海村文化財保護審議会委員

菊池 芳文